

わが国の慢性透析療法の現況 (2017年12月31日現在)

新田 孝作¹ 政金 生人¹ 花房 規男¹ 谷口 正智¹
 長谷川 毅¹ 中井 滋¹ 後藤 俊介¹ 和田 篤志¹
 濱野 高行¹ 星野 純一¹ 常喜 信彦¹ 阿部 雅紀¹
 山本 景一¹ 中元 秀友²

¹日本透析医学会統計調査委員会 ²日本透析医学会理事長

〈要旨〉

日本透析医学会統計調査(JSDT Renal Data Registry: JRDR)の2017年末時点における年次調査は、4,413施設を対象に実施され、施設調査票に関しては4,360施設(98.8%)、患者調査票に関しては4,188施設(94.9%)から回答を得た。匿名化方法を強化して3年目の調査であったが、施設調査票、患者調査票とも回収率はほぼ例年通りであった。わが国の透析患者数は年々増加し続け、2017年末の施設調査結果による透析患者数は334,505人に達し、人口百万人あたりの患者数は2,640人であった。患者調査結果による平均年齢は68.43歳で、最も多い原疾患は糖尿病性腎症(39.0%)、次いで慢性糸球体腎炎(27.8%)、第3位は腎硬化症であった(10.3%)。経年的にみると、糖尿病性腎症および腎硬化症が増加し、慢性糸球体腎炎は減少している。2017年の施設調査結果による透析導入患者数は40,959人であり、2008年以降概ね大きな変動なく推移している。患者調査結果による透析導入患者の平均年齢は69.68歳であり、原疾患では糖尿病性腎症が最も多かった(42.5%)。糖尿病性腎症による年間導入数は横ばいで推移している。一方、2017年の施設調査結果による年間死亡患者数は32,532人であり、年間粗死亡率は9.8%であった。2012年の診療報酬改定以降、血液透析濾過(HDF)患者数は急増しており2017年末には95,140人に達した。これは2016年末と比較して18,304人増加した。腹膜透析(PD)患者数は9,090人であり2016年よりも増加している。腹膜透析患者のうち19.4%は血液透析(HD)やHDFとの併用療法であった。2017年末の在宅HD患者は684人であり、2016年末から49人増加した。

2017 Annual Dialysis Data Report, JSDT Renal Data Registry

The annual survey of Japanese Society for Dialysis Therapy Renal Data Registry (JRDR) was conducted for 4,413 dialysis facilities at the end of 2017, among which 4,360 facilities(98.8%) responded to the facility survey and 4,188 facilities (94.9%) responded to the patient survey. The response rate of the 2017 survey was comparable with the past, even though it was the third year after the new anonymization method. The number of chronic dialysis patients in Japan continues to increase every year; it has reached 334,505 at the end of 2017 and the prevalence rate of the dialysis patients was 2,640 per million population. The mean age from the patient survey was 68.43 years. Diabetic nephropathy was the most common primary disease among the prevalent dialysis patients (39.0%), followed by chronic glomerulonephritis (27.8%) and nephrosclerosis (10.3%). The rate of diabetic nephropathy and nephrosclerosis has been increasing year by year, whereas that of chronic glomerulonephritis was declining. The number of incident dialysis patients during 2017 was 40,959; it has remained stable since 2008. The average age was 69.68 years and diabetic nephropathy(42.5%) was the most common cause in the incident dialysis patients. These patients caused by diabetes did not change in number for recent several years. 32,532 patients died in 2017; the crude mortality rate was 9.8%. The patients treated by hemodiafiltration (HDF) have been increasing rapidly from the revision of medical reimbursement for HDF therapy in 2012. It has attained 95,140 patients at the end of 2017, which were 18,304 greater than that in 2016. The number of peritoneal dialysis (PD) patients was 9,090 in 2017, which slightly increased compared with 2016. 19.4% of PD patients treated in the combination of hemodialysis(HD) or HDF therapy. 684 patients were treated by home HD therapy at the end of 2017; it increased by 49 from 2016.

I. 2017年日本透析医学会統計調査報告書 総論

緒 言

一般社団法人日本透析医学会は、1968年から毎年末時点におけるわが国の慢性透析療法の現況を調査しており（JSDT Renal Data Registry: JRDR と称す）、この調査では全国の透析療法施設のほぼすべてが対象施設になっている^{1,2)}。本調査は関係施設の無償の協力で行われているにもかかわらず、ほぼ全数調査ともいえる回収率であり、文字通りバイアスのないわが国の慢性透析の現況を表しており、このような調査は世界でも希である。本調査結果を上梓するにあたり、日常臨床の傍ら本調査にご協力いただいた透析施設の皆様にこの場を借りて深く感謝申し上げます。

JRDRの年次報告はこれまで、「図説 わが国の慢性透析療法の現況」（図説現況）と「わが国の慢性透析療法の現況 CD-ROM 版」を当該年の翌年の年末に発刊し、翌々年の学会和文誌1月号に論文として掲載されてきた。さらにその英語訳版は約半年遅れで英文学会誌である Renal Replacement Therapy に掲載された（2014年報告以前は Therapeutic Apheresis and Dialysis 誌に掲載）。2015年から図説現況と和文誌掲載論文に収載される図表の編集方針がほとんど同じになったことを受けて、日本透析医学会は JRDR 調査結果の報告方法を検討してきた。その結果、2017年から調査結果はフルカラーで2018年12月号の和文誌に掲載され、図説現況は廃止されることになった。これまで図説現況は施設会員、調査協力施設に1冊のみ配布されてきたが、今後は図説とほぼ同じ内容の年次報告書がすべての施設会員、個人会員に送付されることになり、JRDRの調査結果がより有効に利用されることが期待される。一方、日本透析医学会はウェブ上で自ら条件設定を行い、帳票出力を随意に行えるシステム（Web-based Analysis of Dialysis Data Archives system: WADDA system）を設立した。このシステムにより、会員の JRDR の調査結果利用の利便性が飛躍的に高まり、学会員は常に最新のデータを用いた解析を行うことが可能になった。このような状況を鑑み、現行の「わが国の慢性透析療法の現況 CD-ROM 版」の発行は、2019年の調査結果報告をもって終了することとなった。

2017年 JRDR 調査では、わが国の透析治療の大きな特徴といえる、ハイパフォーマンス膜（High-performance membrane: HPM）と近年急激に増加している血液透析濾過（Hemodiafiltration: HDF）の治療条件について詳しい調査が行われた。同様な調査は2008年にも行われており、約10年間で治療技術がどのように変化したのかが注目される。

JRDR 調査の倫理的基盤

2014年12月に厚生労働省と文部科学省から「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」が發布され、各学術団体は疫学研究においても倫理的配慮、個人情報保護を厳格に行うことが求められた³⁾。日本透析医学会もこの指針に準拠して、2015年末調査から匿名化を強化し、個人情報保護を徹底するように調査方法を変更した。匿名化強化は特殊なアルゴリズムで患者情報を不規則な英数文字配列に変換し、実名に復元する対応表は透析施設が保有するシステムで、日本透析医学会事務局は患者情報を復元することができない。このような技術的基盤を強化した上で、調査の倫理的妥当性、公正性、透明性を担保するために、2015年3月に倫理委員会の審査を受け（日本透析医学会倫理委員会承認番号1）、倫理審査終了後 UMIN 臨床試験登録システムに公開し（UMIN000018641）、これらの結果を一括して上述の学会ホームページに掲載した⁴⁾。

調査方法

1. 調査票の送付と回収

JRDR 年次調査は透析ベッド数、スタッフ数、患者数などを調べる施設調査票と、その透析施設の個々の患者の透析条件や検査所見、アウトカム指標などを調べる患者調査票の2種類がある。2017年の統計調査では、Excelで

作成された施設調査票と匿名化された2016年の患者調査票が格納されたUSBメモリを、2017年12月に全国の透析施設に郵送した。各透析施設は2015年に送付した対応表USBメモリを用い実名復元を行った上で、生存死亡、転院などの転帰記載やその他のデータの更新を行った。さらに新規患者の登録を行い、すべての患者の記載が終了した時点で、再度対応表USBメモリを用いて匿名化処理を行った。各透析施設は患者個人情報完全に匿名化されたことを確認した後、調査票USBメモリのみを日本透析医学会事務局に返送した。紙媒体の患者調査は2015年調査から廃止した。データの初回締め切りは2018年1月31日に設定したが、その後返送のない施設への調査協力督促を行い、6月30日の最終回収をもって2017年末データへの組み入れを終了した。

2. 調査項目

2017年調査では以下の項目が調査された。

■施設調査

1. 施設概略・規模

- ・施設コード、施設名、透析開始年月
- ・透析能力：同時透析能力、最大収容能力、透析コンソール台数、エンドトキシン捕捉フィルター（endotoxin retentive filter: ETRF）装着コンソール台数

2. 患者動態

- ・2017年末透析患者数（治療方法別患者数（通院・入院））
- ・2017年透析患者数のうち夜間透析患者数
- ・2017年新規導入患者数（HD(F)で新規導入した患者数、PDで新規導入した患者数）
- ・2017年死亡患者数

3. 透析液水質管理状況

- ・透析液エンドトキシン濃度測定頻度と測定値
- ・透析液生菌数測定頻度と生菌数
- ・透析用水のための供給水源
- ・始業前残留塩素測定頻度と測定方法
- ・日本透析医学会水質基準（化学的汚染基準）の認知、測定頻度数

■患者調査

1. 患者固有情報

- ・性別、生年月日、導入年月、原疾患、在住県、転入年月、転入前施設コード、転帰区分、（転出・死亡・離脱・移植）年月、転出先施設コード、死因、患者情報変更/訂正区分、治療方法、HD/HDF等とPD併用療法の状況、PD経験の有無、腎移植の回数、バスキュラーアクセスの種類

2. HD/HDFの治療条件

- ・週透析回数、透析時間、血流量
- ・HDF：希釈方法、1セッションあたりの置換液量
- ・血液浄化器の膜素材と機能分類、膜面積
- ・身長、透析前後体重、透析前収縮期血圧、透析前拡張期血圧、透析前脈拍

3. 検査所見

- ・透析前後血液尿素窒素濃度（BUN）、透析前後血清クレアチニン濃度、透析前血清アルブミン濃度、透析前血清C反応蛋白（CRP）濃度、透析前血清カルシウム濃度、透析前血清リン濃度、血清副甲状腺ホルモン（PTH）濃度測定方法、PTH濃度（intact PTH・whole PTH）、透析前ヘモグロビン濃度、血清総コレステロール濃度（総コレステロール）、血清HDL-コレステロール濃度（HDL-C）、透析前後β2-MG濃度

4. アウトカム因子

- ・降圧薬内服の有無、喫煙の有無、糖尿病の既往の有無、虚血性心疾患の既往、脳出血の既往、脳梗塞の

既往，四肢切断の有無，大腿骨近位部骨折の既往，被嚢性腹膜硬化症（EPS）の既往，手根管解放術の既往，入院の有無，入院理由

5. 腹膜透析（PD）調査

- ・治療歴：現在施行中のPD透析歴（PD歴），2017年中のPD実施月数
- ・腹膜機能：腹膜平衡試験（PET）施行の有無，PET4時間値における透析液中クレアチニン濃度と血液クレアチニン濃度の比（PET Cr D/P比）
- ・透析処方：PDで使用される透析液の種類（PD透析液種類），1日のPD透析液使用量（PD液使用量），1日のPD実施時間，1日尿量（尿量），1日平均除水量（除水量），残存腎によるKt/V（残腎Kt/V），PDによるKt/V（PD Kt/V）
- ・透析方法：自動腹膜透析装置（APD）使用の有無，PD透析液交換方法
- ・感染症：年間腹膜炎罹患回数（腹膜炎回数），年間出口部感染罹患回数

3. 原疾患コード，死因コードの修正

2017年度調査においては，疾患分類や用語の変化，レジストリデータの国際比較をより合理的に行うために，原疾患コードと死因コードの細目の改修を行った。

原疾患コードの分類では，Alport症候群などの遺伝性疾患を，「その他の分類不能の腎炎-遺伝性腎炎」から「遺伝性疾患」として独立させ，主な遺伝性疾患を細目にもうけた。さらに，間質性腎炎や自己免疫疾患に伴う腎炎をより合理的な分類を行った。また，急性腎障害の遷延化や外因性腎障害に起因する腎不全にも対応するように新たなコードを設置した（表1）。これらの改変を踏まえて，2016年以前との調査の連続性を慎重に考慮して2017年以降の集計用原疾患分類を確立した（表2）。

死因コードの分類では，心疾患の細目「心内膜炎および弁膜症」を，「弁膜症」「心外膜炎」「心筋症」「その他の心疾患」に修正し，心内膜炎は「感染性心内膜炎」として，感染症に分類した。また，大動脈瘤などを含む「血管疾患」の死因コードを新たに設置した。悪性腫瘍のコードでは，細目を増やして臓器別の悪性腫瘍の発生頻度を把握しやすくした。その他，肝胆膵疾患，肺・呼吸器疾患，血液疾患の死因コードを新設した（表3）。これらの改変を踏まえて，2016年以前との調査の連続性を慎重に考慮して2017年以降の集計用死因分類を確立した（表4）。

4. 調査票回収状況

2017年の統計調査は全国4,413施設を対象に実施され，施設調査票に関しては4,360施設（98.8%）から回答が得られた。回収施設は前年比24施設増，0.6%増であった。患者調査票に関しては4,188施設（94.9%）から回答が得られた。紙媒体による患者調査は，2015年調査から廃止されたが，調査票の回収率には影響を与えなかった。

表 1 原疾患コード新旧対照, 2017

< ~ 2016年 >

疾患名	原疾患コード 生検確認	
	なし	あり
慢性糸球体腎炎	010	011
IgA 腎症	012	013
その他の増殖性腎炎	014	015
膜性腎症	016	017
膜性増殖性腎炎	018	019
慢性腎盂腎炎	020	021
その他の間質性腎炎	022	023
急速進行性糸球体腎炎	030	031
妊娠腎／妊娠中毒症	050	051
その他の分類不能の腎炎	060	061
遺伝性腎炎	062	063
多発性嚢胞腎	070	071

先天性代謝異常に基づく腎不全	140	141
----------------	-----	-----

腎硬化症	080	081
悪性高血圧	090	091
糖尿病性糸球体腎硬化症	100	101
1型糖尿病	102	103
2型糖尿病	104	105
SLE 腎炎	110	111
その他の自己免疫性腎炎	112	113
アミロイド腎	120	121
痛風腎	130	131
腎・尿路結核	150	

腎・尿路結石	160	
腎・尿路腫瘍	170	
閉塞性尿路障害	180	
骨髄腫	190	

腎形成不全	200	
不明	210	
再導入	220	
その他	230	

< 2017年 > 青字は名称変更、赤字は新規分類

疾患名	疾患名（詳細）	原疾患コード 生検確認		集計分類 (集計表に表示する原疾患名)
		なし	あり	
慢性糸球体腎炎	慢性糸球体腎炎	010	011	慢性糸球体腎炎
	IgA 腎症・紫斑病性腎炎	012	013	
	その他の増殖性腎炎	014	015	
	膜性腎症	016	017	
	膜性増殖性糸球体腎炎	018	019	
	巣状糸球体硬化症	240	241	
慢性腎盂腎炎		020	021	慢性腎盂腎炎
間質性腎炎		250	251	間質性腎炎
急速進行性糸球体腎炎 (ANCA 関連腎炎, 抗GBM 抗体腎炎)		030	031	急速進行性糸球体腎炎
妊娠高血圧症候群 (妊娠腎／妊娠中毒症)		050	051	妊娠高血圧症候群
その他の分類不能の腎炎		060	061	その他の分類不能の腎炎
多発性嚢胞腎		070	071	多発性嚢胞腎
遺伝性疾患	Alport 症候群	142	143	遺伝性疾患
	その他遺伝性腎疾患	144	145	
	Fabry 病	146	147	
	その他先天性代謝異常に基づく腎不全	148	149	
腎硬化症		080	081	腎硬化症
悪性高血圧 (高血圧緊急症)		090	091	悪性高血圧
糖尿病性糸球体腎硬化症	糖尿病性糸球体腎硬化症	100	101	糖尿病性腎症
	1型糖尿病	102	103	
	2型糖尿病	104	105	
自己免疫性疾患に伴う腎炎	ループス腎炎	110	111	自己免疫性疾患に伴う腎炎
	その他の自己免疫性疾患に伴う腎炎	112	113	
アミロイドーシスによる腎障害		120	121	アミロイドーシスによる腎障害
痛風腎		130	131	痛風腎
腎・尿路結核		150		腎・尿路結核
ウイルス感染症に伴う腎疾患		260		ウイルス感染症に伴う腎疾患
腎・尿路結石		160		腎・尿路結石
腎・尿路腫瘍		170		腎・尿路腫瘍
閉塞性尿路障害・排尿障害		180		閉塞性尿路障害・排尿障害
パラプロテイン血症 (骨髄腫等*)		190		パラプロテイン血症 (骨髄腫等)
急性腎障害	腎血流障害	270		急性腎障害
	微小血管障害 (TTP, HUS など)	272		
	その他急性腎障害	274		
外因性腎障害	薬剤腎障害	280		外因性腎障害
	コレステロール塞栓症	282		
	その他の外因性腎障害	284		
先天性腎尿路異常 (CAKUT)		200		先天性腎尿路異常
不明		210		不明
移植後再導入		220		移植後再導入
その他		230		その他

* : アミロイドーシス除く

表 2 集計用原疾患分類, 2017

集計分類 (集計表に表示する原疾患名)	疾患名	原疾患コード 生検確認	
		なし	あり
慢性糸球体腎炎	慢性糸球体腎炎	010	011
	IgA 腎症・紫斑病性腎炎	012	013
	その他の増殖性腎炎	014	015
	膜性腎症	016	017
	膜性増殖性糸球体腎炎	018	019
	巣状糸球体硬化症	240	241
慢性腎盂腎炎	慢性腎盂腎炎	020	021
間質性腎炎	間質性腎炎	250	251
急速進行性糸球体腎炎	急速進行性糸球体腎炎 (ANCA 関連腎炎, 抗 GBM 抗体腎炎)	030	031
妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群 (妊娠腎/妊娠中毒症)	050	051
その他の分類不能の腎炎	その他の分類不能の腎炎	060	061
多発性嚢胞腎	多発性嚢胞腎	070	071
遺伝性疾患	Alport 症候群	142	143
	その他遺伝性腎疾患	144	145
	Fabry 病	146	147
	その他先天性代謝異常に基づく腎不全	148	149
腎硬化症	腎硬化症	080	081
悪性高血圧	悪性高血圧 (高血圧緊急症)	090	091
糖尿病性腎症	糖尿病性糸球体腎硬化症	100	101
	1 型糖尿病	102	103
	2 型糖尿病	104	105
自己免疫性疾患に伴う腎炎	ループス腎炎	110	111
	その他の自己免疫性疾患に伴う腎炎	112	113
アミロイドーシスによる腎障害	アミロイドーシスによる腎障害	120	121
痛風腎	痛風腎	130	131
腎・尿路結核	腎・尿路結核	150	
ウイルス感染症に伴う腎疾患	ウイルス感染症に伴う腎疾患	260	
腎・尿路結石	腎・尿路結石	160	
腎・尿路腫瘍	腎・尿路腫瘍	170	
閉塞性尿路障害・排尿障害	閉塞性尿路障害・排尿障害	180	
paraproteinemia (骨髄腫等)	paraproteinemia (骨髄腫等*)	190	
急性腎障害	腎血流障害	270	
	微小血管障害 (TTP, HUS など)	272	
	その他急性腎障害	274	
外因性腎障害	薬剤腎障害	280	
	コレステロール塞栓症	282	
	その他の外因性腎障害	284	
先天性腎尿路異常	先天性腎尿路異常 (CAKUT)	200	
不明	不明	210	
移植後再導入	移植後再導入	220	
その他	その他	230	

*: アミロイドーシス除く

表3 死因コード新旧対照, 2017

< 2010年~2016年 >

死亡原因分類		臨床的確定の有無	
		なし	あり
心疾患	心不全	110	111
	肺水腫 (溢水)	120	121
	急性心筋梗塞 (発症 30 日以内死亡)	130	131
	虚血性心疾患 (急性心筋梗塞以外)	140	141
	不整脈、伝導障害	150	151
	心内膜炎および弁膜症	160	161
	その他の心疾患	100	101
脳血管障害	くも膜下出血	210	211
	脳内出血	220	221
	脳梗塞	230	231
	その他の脳血管疾患	200	201

突然死	高カリウム血症	910	911
	原因不明の突然死	920	921
感染症	敗血症	310	311
	中枢神経系感染症	320	321
	肺炎	330	331
	インフルエンザ	340	341
	尿路感染症	350	351
	消化管・胆道系感染症・腹膜炎	360	361
	劇症 (急性) ウイルス肝炎	370	371
	結核	380	381
	ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 感染症	390	391
	その他の感染症	300	301
悪性腫瘍	中枢神経系の悪性新生物	410	411
	呼吸器系の悪性新生物	420	421
	肝癌	430	431
	肝癌以外の消化器系の悪性新生物	440	441
	乳房の悪性新生物	450	451
	性器の悪性新生物	460	461
	腎の悪性新生物	470	471
	内分泌腺の悪性新生物	480	481
	造血・リンパ組織の悪性新生物	490	491
	その他の悪性新生物	400	401
肝硬変	ウイルス性肝硬変	510	511
	ウイルス性以外の肝硬変	520	521

消化器疾患	腸の血行障害	610	611
	イレウス	620	621
	消化管出血	630	631
	被嚢性腹膜硬化症	640	641
	その他の消化器疾患	600	601
肺梗塞 / 肺塞栓	肺梗塞、肺塞栓症	710	711

悪液質 / 尿毒症 など	悪液質	810	811
	尿毒症	820	821
	認知症	830	831
	その他	800	801

自殺 / 拒否 / 事故 / 災害死	自殺	010	
	治療拒否 (透析拒否)	020	
	災害・事故死	030	031
	その他	080	081
不明	不明	090	

< 2017年 > 青字は名称変更、赤字は新規分類

死亡原因分類		死因コード	集計分類 (集計表に表示する死因名)
心疾患	心不全	110	心不全
	肺水腫 (溢水)	120	
	急性心筋梗塞 (発症 30 日以内死亡)	130	心筋梗塞
	虚血性心疾患 (急性心筋梗塞以外)	140	
	不整脈、伝導障害	150	心不全
	弁膜症*	162	
	心外膜炎	170	
心筋症	180		
その他の心疾患	100		
脳血管障害	くも膜下出血	210	脳血管障害
	脳出血	220	
	脳梗塞	230	
	その他の脳血管疾患	200	
血管疾患	大動脈瘤 (解離性含む)	260	その他
	その他の血管疾患	250	
突然死	高カリウム血症	910	カリウム中毒 / 頓死
	原因不明の突然死	920	
感染症	敗血症	310	感染症
	中枢神経系感染症	320	
	肺炎	330	
	インフルエンザ	340	
	尿路感染症	350	
	消化管・胆道系感染症・腹膜炎	360	
	感染性心内膜炎	164	
	結核	380	
	ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 感染症	390	
	その他の感染症	300	
悪性腫瘍	中枢神経系の悪性新生物	410	悪性腫瘍
	呼吸器系の悪性新生物	420	
	肝細胞癌	430	
	胃の悪性新生物	442	
	結腸・直腸の悪性新生物	444	
	膵臓の悪性新生物	446	
	胆嚢・胆管・胆道の悪性新生物	448	
	上記以外の消化器系の悪性新生物	440	
	乳房の悪性新生物	450	
	性器の悪性新生物	460	
腎細胞癌	472		
腎細胞癌以外の腎尿路系の悪性腫瘍	474		
内分泌腺の悪性新生物	480		
造血・リンパ組織の悪性新生物	490		
その他の悪性新生物	400		
肝胆膵疾患	ウイルス性肝硬変	510	肝硬変症
	非ウイルス性肝硬変	520	
	劇症肝炎	370	
	劇症肝炎以外の急性肝不全	530	
	膵炎	540	
その他の肝胆膵疾患	500	その他	
消化器疾患	腸の血行障害	610	腸閉塞
	イレウス	620	
	消化管出血	630	消化管出血
	被嚢性腹膜硬化症	640	
	消化管穿孔	650	
その他の消化器疾患	600	その他	
肺・呼吸器疾患	肺梗塞、肺塞栓症	710	肺疾患
	慢性閉塞性肺疾患 (COPD)・慢性呼吸不全	720	
	その他肺・呼吸器疾患 (肺炎除く)	700	
血液疾患	骨髄不全	760	血液疾患
	その他の血液疾患	750	
悪液質 / 尿毒症 / 老衰 など	悪液質	810	悪液質 / 尿毒症 / 老衰 など
	尿毒症	820	
	老衰 (年齢以外に明らかな原因を認めないもの)	840	
	認知症	830	
	その他の悪液質 / 尿毒症	800	
内分泌・代謝疾患	内分泌・代謝疾患	850	その他
自殺 / 拒否 / 事故 / 災害死	自殺	010	自殺・拒否
	治療拒否 (透析拒否)	020	
	災害・事故死	030	
	薬物中毒	040	
	治療見合わせ	050	
その他	その他	080	その他
不明	不明	090	不明

* : 従来の (感染性) 心内膜炎については、感染症の中に移動しています。

表4 集計用死因分類表, 2017

* : 末尾「1」は臨床的確認の有無が「あり」.

集計分類 (集計表に表示する死因名)	死因 コード	2017年 死亡原因分類	死因コード (*)	2010～2016年 死亡原因分類	
心不全	110	心不全	110	111	心不全
	120	肺水腫（溢水）	120	121	肺水腫（溢水）
	150	不整脈、伝導障害	150	151	不整脈、伝導障害
	162	弁膜症**	160	161	心内膜炎および弁膜症
	170	心外膜炎			
	180	心筋症			
脳血管障害	100	その他の心疾患	100	101	その他の心疾患
	210	くも膜下出血	210	211	くも膜下出血
	220	脳出血	220	221	脳内出血
	230	脳梗塞	230	231	脳梗塞
	200	その他の脳血管疾患	200	201	その他の脳血管疾患
感染症	310	敗血症	310	311	敗血症
	320	中枢神経系感染症	320	321	中枢神経系感染症
	330	肺炎	330	331	肺炎
	340	インフルエンザ	340	341	インフルエンザ
	350	尿路感染症	350	351	尿路感染症
	360	消化管・胆道系感染症・腹膜炎	360	361	消化管・胆道系感染症・腹膜炎
			370	371	劇症（急性）ウイルス肝炎
	380	結核	380	381	結核
	390	ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 感染症	390	391	ヒト免疫不全ウイルス [HIV] 感染症
	164	感染性心内膜炎			
300	その他の感染症	300	301	その他の感染症	
消化管出血	630	消化管出血	630	631	消化管出血
悪性腫瘍	410	中枢神経系の悪性新生物	410	411	中枢神経系の悪性新生物
	420	呼吸器系の悪性新生物	420	421	呼吸器系の悪性新生物
	430	肝細胞癌	430	431	肝癌
	442	胃の悪性新生物			
	444	結腸・直腸の悪性新生物			
	446	膀胱の悪性新生物	440	441	肝癌以外の消化器系の悪性新生物
	448	胆嚢・胆管・胆道の悪性新生物			
	440	上記以外の消化器系の悪性新生物			
	450	乳房の悪性新生物	450	451	
	460	性器の悪性新生物	460	461	性器の悪性新生物
	472	腎細胞癌			
	474	腎細胞癌以外の腎尿路系の悪性腫瘍	470	471	腎の悪性新生物
	480	内分泌腺の悪性新生物	480	481	内分泌腺の悪性新生物
	490	造血・リンパ組織の悪性新生物	490	491	造血・リンパ組織の悪性新生物
400	その他の悪性新生物	400	401	その他の悪性新生物	
悪液質 / 尿毒症 / 老衰など	810	悪液質	810	811	悪液質
	820	尿毒症	820	821	尿毒症
	840	老衰（年齢以外に明かな原因を認めないもの）			
	830	認知症	830	831	認知症
	800	その他の悪液質 / 尿毒症	800	801	その他の悪液質 / 尿毒症
心筋梗塞	130	急性心筋梗塞（発症30日以内死亡）	130	131	急性心筋梗塞（発症30日以内死亡）
	140	虚血性心疾患（急性心筋梗塞以外）	140	141	虚血性心疾患（急性心筋梗塞以外）
カリウム中毒 / 頓死	910	高カリウム血症	910	911	高カリウム血症
	920	原因不明の突然死	920	921	原因不明の突然死
肝硬変症	510	ウイルス性肝硬変	510	511	ウイルス性肝硬変
	520	非ウイルス性肝硬変	520	521	ウイルス性以外の肝硬変
自殺 / 拒否	010	自殺	010		自殺
	020	治療拒否（透折拒否）	020		治療拒否（透折拒否）
腸閉塞	610	腸の血行障害	610	611	腸の血行障害
	620	イレウス	620	621	イレウス
	640	被嚢性腹膜硬化症	640	641	被嚢性腹膜硬化症
血液疾患	760	骨髄不全			
	750	その他の血液疾患			
肺疾患	710	肺梗塞、肺塞栓症	710	711	肺梗塞、肺塞栓症
	720	慢性閉塞性肺疾患 (COPD)・慢性呼吸不全			
	700	その他肺・呼吸器疾患（肺炎除く）			
災害・事故死	030	災害・事故死	030	031	災害・事故死
その他	260	大動脈瘤（解離性含む）			
	250	その他の血管疾患			
	370	劇症肝炎			
	530	劇症肝炎以外の急性肝不全			
	540	瘰癧			
	500	その他の肝胆膵疾患			
	650	消化管穿孔			
	600	その他の消化器疾患	600	601	その他の消化器疾患
	850	内分泌・代謝疾患			
	040	薬物中毒			
	050	治療見合わせ			
080	その他	080	081	その他	
不明	090	不明	090		不明

** : 従来の（感染性）心内膜炎については、感染症の中に移動しています。